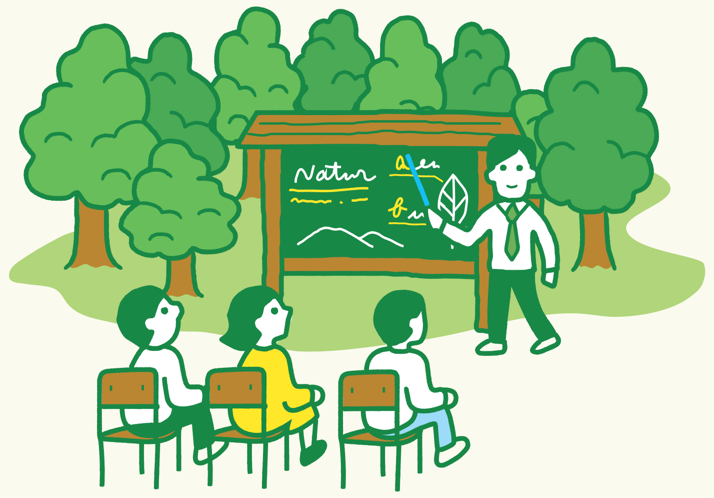
想像し創造しよう　みんなの屋久島
次の30年へ　イマジン屋久島

imagine Yakushima

世界中から“自然との関わり”を学びにくる島へ

島内の小中高生や大人はもちろん、様々な世代が世界中から屋久島に訪れ、持続可能な社会のあり方を学べる仕組みや体制のある屋久島にしてゆきます。多様な切り口の体験できる学びの場づくりを通して「水と命の循環」や、暮らしに関わる様々な技術を学べる島へと進化します。

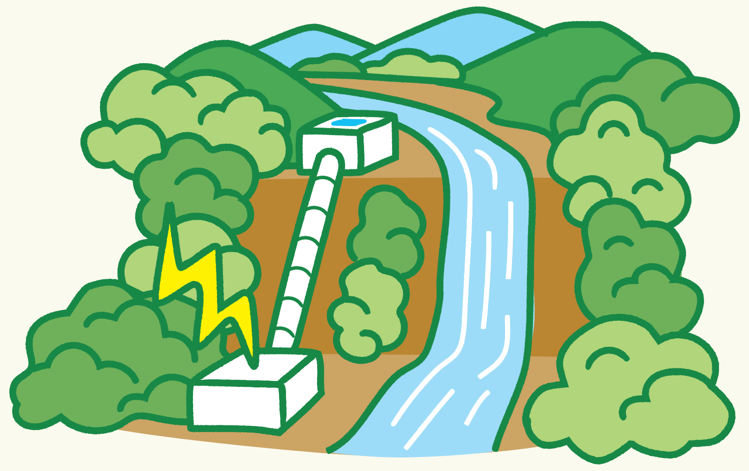


千年先の豊かさを想像しながらはぐくむ森づくり

島の暮らしを支えてきた森の仕事を改めて学び、これから先の未来も受け継いでいく仕組みが必要となります。
森を守り、育むための木の伐採や植樹を体験したり、屋久島の木を活用したプロダクトを考え、つくって、届けます。
先人たちが大切にしてくれてきた森と人の営みを、千年先まで続いていく屋久島を目指してゆきましょう。

子どもも大人も成長し続けられる屋久島だからできる子育てを

地域で手を取り合いながら、子育てをする島。親どうしや地域とのネットワークやコミュニティがつよくなり、安心して頼れる人に囲まれながら子育てができる。子ども達が思う存分に自然のなかで遊べる、雨の日でも楽しめる子育ての島へ。「屋久島で子育てをしたい！」と思われる島へと。



水の島、屋久島 水のチカラで豊かに暮らす

この先の未来も、水の恵みでエネルギーを自給するだけでなく、島外へも供給できる屋久島へ。燃料を電気に切り替えて環境負荷を減らしながら、豊かな屋久島の暮らし方を続けます。

屋久杉のように豊かに安心して歳を重ねる島

心も体も輝くように生き生きと暮らし、旅するように楽しむことができる屋久島。歳を重ねても、安心して暮らせる介護サービスや、障害を関係なく暮らせる生活支援施設、ワクワクできるコミュニティ。お互いの特技を活かし、助け合いながら、それぞれが活躍し続けられる島のあり方を考えます。

いつでもどこでも水が美味しい！水源の保全を屋久島から

川の水が飲めることが当たり前だった地球へと、少しずつ再生してゆくために。いつでもどこでも川の水が飲める屋久島を体験してもらい、水源の保全を世界に広げていきます。

「山 10 日、海 10 日、里 10 日」島の暮らし方を未来につなぐ

人口減少とともに薄れてきている、自然と調和した島の伝統的なライフスタイル。
移住者や観光客、ITなどテクノロジーのチカラも活かしながら、空き家の再生や移住体験の場所を整備して、集落を持続させます。
24集落それぞれの持続可能なライフスタイルや伝統、文化を後世に残っていくような仕組みを考えてゆきましょう。

屋久島の美しさを感じること 日常にある美しさに気づいていられるように

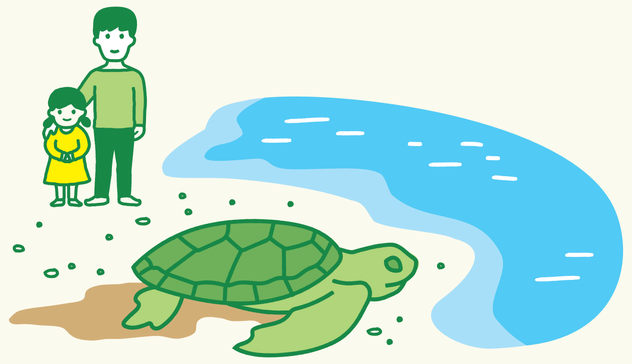
屋久島の多様な美しさを世界に発信し続ける。その発信をみて島の子どもたちも屋久島の価値を学び、誇りに思い育ってゆく。30年後の子どもたちも屋久島を誇りに思い、発信する循環を生み出していく。そのために､屋久島の日常の中に美しさを見いだせる人、美しさに心をひらく人が多くなっていくことを願います。

はるか昔から魂を揺さぶりつづけた自然への畏敬の想いを受け継ぐ

森林の保全と活用で人々が苦しみ、葛藤してきた島であることを忘れずに、屋久島の自然から発せられる啓示を受け取ります。
岳参りに象徴されるような、畏れ敬ってきた自然に対する先人のあり方から、私たちも学び続け、それを体現し続けます。このことを通じて、「自然との共生」という人類としてのテーマを正しくとらえ、これから未来の世代へと伝えていきます。

新しい風が運んでくる種 島の可能性を一緒に育む

新しい文化を運んできてくれる島外からの人たちを大切にします。観光客、移住者だけでなく、アーティストや研究者など様々なひとが長期滞在する環境を整えたり、近隣の島々との交流を増やしたりなど、多様な人が訪れ住む島のあり方を大切にしてゆきます。



世界に誇れる大自然で屋久島をもっと遊び尽くす

世界的に見ても豊かで美しい自然を五感で遊べる島でありつづける。アドベンチャーツーリズムや、様々な野外アクティビティの創出を、環境負荷を下げながら、より楽しめる仕組みをつくります。

森､川､里､海からつながっていく豊かな海を､未来へと

屋久島の豊かな海を守り、育むための様々な活動がこれからも生まれ続けます。ブルーツーリズムや水産資源の開発など、海の恵みを受け取りながら活かすことを。海での活動だけでなく、川や山や里でも海を想いやるアクションを育てていきます。

私たちも生態系に還る 地球の循環の中での暮らしへ

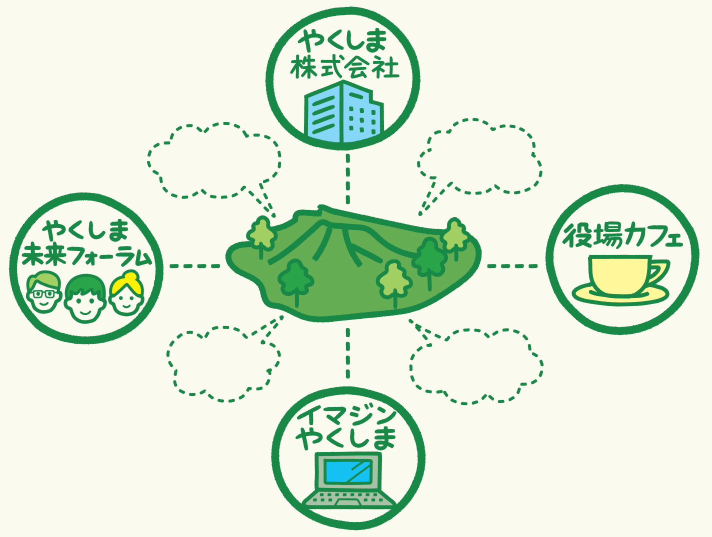
未来を心配するのではなく、未来を楽しめる暮らしへと意識と行動を変えてゆきます。ゴミや廃材のリサイクル、自然や人にやさしい製品の選択など。未来への可能性を創っていくものを選択し、可能性をつなげる行動を増やしていくことで、私たちがこの先に期待できる未来を創っていきます。

仕事や食がつながりあい生かしあう 循環する島へ

生きてゆくのに欠かせない、食べることやお金を得ること。農業、林業、畜産業、森林でのガイドや観光そのものが環境を回復させる形へ進化し、そんな仕事が増えてゆきます。島のものが島で食べれて、お金やものが島内で循環する、生態系のように活かしあい支えあう屋久島へ。

夢を語り、夢を実現するための垣根を越えたつながりを生む仕組み

様々なカタチで島の中に人の繋がりが生まれる、そんなイベントやチーム、場所やプロジェクトが次々に起こっていく。島のみんなの努力がみんなに還元される、応援しあい助けあえる屋久島へ。みんなのアイデアの実現を後押ししてくれるプラットフォームを。



屋久島の今は？ 地球の今は？ 想像していこう､イマジン屋久島

みんながイマジンする屋久島に対して、今どこまで来れているのか？例えば屋久島憲章に対してどこまでやれているのかを検証してみたり、森や海の生き物たちが今どういう状態なのかを記録し続けたり。屋久島の現在地を、地球の現在地を、常に確認しながら、私たちのイマジンの理想に向かって進みます。

イマジン屋久島の新しい動きは web へ